

「はめこみ構成課題」 教具セット説明書・指導解説書(2020. 4. 1)



I 教具のセット

(1) 枠

・四角形課題用(大) 2枚(内寸182×182×深さ8mm, 12mm)

⇒裏表で深さが変わる

・三角形課題用(小) 2枚(内寸137×137×8mm)

(2) はめ板 全て厚みは12mm (以下の表を参照)

番号	形状	倍体 (1のはめ板が ○個分か)	サイズ (縦×横)	枚数
1		1	45×45	16
2		2	45×90	8
3		3	45×135	2
4		長方形4	45×180	4
5		正方形4	90×90	4
6		8	90×180	2
7		12	135×180	1
8		16	180×180	1
9		1(※)	60×60	9
10		1.5	60×90	6
11		2	60×120	3
12		3	60×180	3
13		3	120×90	2
14		6	120×180	1

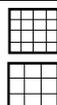
番号	形状	倍体 (1のはめ板が ○個分か)	サイズ (底辺×高さ)	枚数
15		1	134×67	4
16		2	134×134	2
17		1	67×134	4

※三角形課題では、斜辺があることを考慮し基準の大きさを小さく作ってある。四角形課題では大きい枠を、三角形課題では小さい枠を用いると、ぴったりはまる。

II 指導解説書

1. 目的 はめこみ構成を通した、上下左右斜めなどの基本的な空間概念の獲得
2. 対象 概ね2歳半～8歳程度の知的発達水準のもの。
3. 課題の概要 正方形の木の枠の中に、様々な大きさのはめ板をはめて枠を一面埋める課題である。枠が一面埋まると課題達成となる。

※1～8は4×4の1倍体が基準の尺度になっている。
9～14は3×3の1倍体が基準の尺度になっている。



4. 教材のステップ (※十分に達成できるようになった課題は毎回の指導で行う必要はない)

四角形課題

課題番号	組み合わせ	使用はめ板	難易度	課題番号	組み合わせ	使用はめ板	難易度	課題番号	組み合わせ	使用はめ板	難易度																				
1		8×1枚	☆	10		10×6枚	★★★	19		9×3枚 13×2枚	★★★★★																				
2		6×2枚	★	11		9×3枚 14×1枚	★★★	20		6×1枚 10×3枚	★★★★★																				
3		4×1枚 7×1枚	★	12		12×1枚 11×3枚	★★★	21		10×2枚 13×2枚	★★★★★																				
4		12×3枚	★	13		4×1枚 2×6枚	★★★	22		10×4枚 13×1枚	★★★★★																				
5		4×4枚	★	14		10×2枚 12×2枚	★★★	23		2×1枚 3×2枚 6×1枚	★★★★★																				
6		5×4枚	★★	15		4×1枚 2×2枚 6×1枚	★★★	三角形課題 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>課題番号</th> <th>組み合わせ</th> <th>使用はめ板</th> <th>難易度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>16×2枚</td> <td>★★★</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td>17×4枚</td> <td>★★★★★</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td>15×4枚</td> <td>★★★★★ ★</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td>15×2枚 16×1枚</td> <td>★★★★★ ★</td> </tr> </tbody> </table>				課題番号	組み合わせ	使用はめ板	難易度	1		16×2枚	★★★	2		17×4枚	★★★★★	3		15×4枚	★★★★★ ★	4		15×2枚 16×1枚	★★★★★ ★
課題番号	組み合わせ	使用はめ板	難易度																												
1		16×2枚	★★★																												
2		17×4枚	★★★★★																												
3		15×4枚	★★★★★ ★																												
4		15×2枚 16×1枚	★★★★★ ★																												
7		2×8枚	★★	16		12×1枚 10×4枚	★★★																								
8		9×9枚	★★	17		2×5枚 3×2枚	★★★																								
9		1×16枚	★★	18		10×2枚 11×3枚	★★★★★																								

課題2～5：一次元同形課題(向きを合わせて寄せることができれば達成できる)
 課題6～10：二次元同形課題(縦横の空間をイメージして寄せることができれば達成できる)

課題11～17：二次元異形正答パターン複数問題
 (入るパターン数は限られるが、正答の入り方が複数ある組合せ)

課題18～23：二次元異形正答パターン単数課題
 (正答のパターンが1通りしかなく、誤りのパターンも生じる組合せ)

5. 指導の留意点

- (1)教材の固定：すべり止めシート等で、枠が動かないように配慮する。
- (2)枠の深さの違い：初期的な子では、ぴったり入る方の深さ(12mm)の枠で、四角形課題の1か2をはめて練習をすると、ぴったりはまっていることが分かりやすい。課題に慣れた子では、少し浮き出る方の深さ(8mm)の枠を使うと、はめ板のふちが迫れるため、どこに入っているかが分かりやすい。
- (3)はめ板の提示の方法：最初は1枚ずつ手渡し、慣れてくれば子どもに自分で取ってもらう。
- (4)はめ板の提示の順：大きいはめ板から順に渡すと簡単で、反対に小さいはめ板から渡したり、ランダムに並べて自分で選んでもらったりすると難しくなる。子どもの様子を観察して試行錯誤で達成できるような課題を見極めて段階的に指導すると良い。

(文責：宇都宮大学教育学部 福田奏子)

連絡先 佐島 毅 筑波大学人間系 (障害科学域)
 E-mail : sashima-t62@human.tsukuba.ac.jp
 〒112-0012 文京区大塚 3-29-1(422)
 Tel / fax : 03-3942-6854
 筑波研究室：人間系学系棟 B202

Created by Office SASHIMA

文献リスト

- 福田奏子・佐島 毅・阪本悠香・中村 央(2014)盲幼児における触運動感覚を通して実施可能なはめこみ構成課題の難易度に関する事例的検討—空間認知の系統的教材配列の視点から—。障害科学研究, 38, 137-145.
- 福田奏子・佐島 毅(2015)盲幼児児童における触運動感覚を通して実施可能なはめこみ構成課題の難易度に関する検討—課題達成率と手の使い方の分析—。障害科学研究, 39, 91-100.